

平成 24 年 6 月 21 日
九州森林管理局
屋久島森林管理署

ヤクシカ被害対策の取組状況について（概要）

屋久島においては、ヤクシカの生息頭数の増加に伴いヤクシカの過採食による生物多様性や森林生態系へ過剰な圧力がかかっており、特に世界遺産に指定される要因となった植生の垂直分布がみられる西部林道地域においては、森林の生物多様性や生態系への被害が顕著に見られるようになってきている。

このような被害状況に鑑み、森林生態系や生物多様性の保全、農林業への被害軽減等の観点から、関係機関とも連携しながら、以下の内容（項目）のヤクシカの総合的な被害対策を推進する。

1 野生鳥獣との共存に向けた生息環境等整備調査事業（委託調査事業）

（1）目的

ヤクシカの過採食による被害状況、ヤクシカの生息、移動状況等を把握した上で、森林生態系、生物多様性や国土の保全等の観点から、植生の保護・再生方策、ヤクシカの個体数調整方策等を含むヤクシカに関する総合的な対策の検討、取組を推進する。

（2）平成 23 年度調査の概要（別添 1 を参照）

西部林道地域

- ・植生・萌芽枝保護・再生調査
- ・ヤクシカの生息密度等調査

南部地域

- ・植生・群落等の現況、被害状況調査
- ・植生保護・再生調査
- ・ヤクシカの生息密度調査

北東部地域

- ・植生・群落等の現況、被害状況調査
- ・ヤクシカの生息密度等調査
- ・捕獲柵等による捕獲の試行

共通的な取組事項

- 有害捕獲個所の生息密度調査、植生調査
- ヤクシカ個体情報の収集

(3) 平成24年度調査の概要(素案)(別添2を参照)

共通的な取組事項

- 署、町及び猟友会による捕獲体制の構築
- 有害捕獲個所の生息密度等調査及び捕獲効果の検証
- 簡易モニタリング手法の開発
- ヤクシカ個体情報の収集
- 捕獲促進のための有効利用方策の検討

西部地域

- ・ヤクシカの生息密度等調査
- ・植生・萌芽枝保護・再生調査

南部地域

- ・ヤクシカの生息密度等調査
- ・植生保護・再生調査

北東部地域

- ・ヤクシカの生息密度等調査
- ・捕獲手法(くくり罟、捕獲柵等)ごとの効果的設置方法の検証

奥岳地域

- ・ヤクシカの生息密度等調査
- ・植生・群落等の状況、被害状況調査

2 森林整備事業を通じたヤクシカ被害対策

(1) くくりわなを用いた有害鳥獣捕獲

くくりわなによる捕獲に全職員で取り組む。

わなの設置箇所は、事業実行箇所に係る最寄りの林道に設置

本事業と共存の森整備事業の効果的実施と順応的管理に資するため、各林道設置箇所周辺における生息状況調査の実施(署及び委託を含む)

(2) シカネットを活用した捕獲試験(205プロジェクト)

平成22年度設置のシカネット(愛子嶽国有林205林班の伐採跡地に設置)を活用した罠いわなでの猟友会との共同捕獲に取り組む。

平成22年度に屋久島町及び猟友会(上屋久猟友会、屋久町猟友会)と締結したシカ対策推進協定に基づく協力要請(地域との連携)。

これまで設置した調査プロットにおける生息状況及び植生調査の実施(委託)。

(3) 有害捕獲の取組み

平成23年度のくくりわな等による捕獲実績は、315頭(別紙参照)。

平成24年度の目標は300頭。

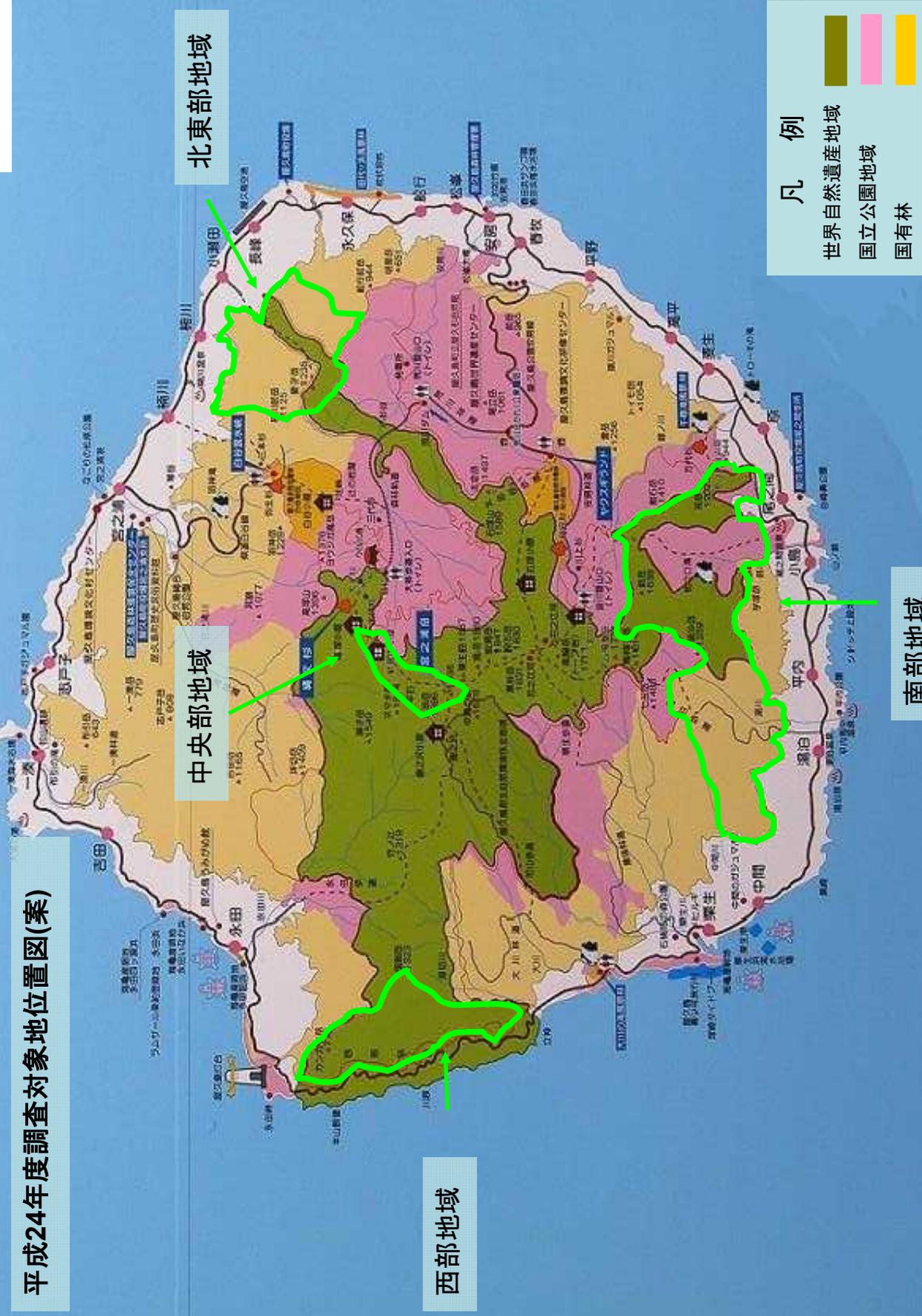
平成23年度 ヤクシカの有害鳥獣捕獲による捕獲数

単位:頭

捕獲場所	雄			雌			雌雄計			捕獲場所別(%)	妊娠個体
	親	子	小計	親	子	小計	親	子	小計		
北東部・東部 (宮之浦林道・神之川林道 ・白谷林道・小瀬田林道 ・船行林道)	86	39	125 54%	68	38	106 46%	154 67%	77 33%	231 100%	73%	4
南東部・南部 (中瀬川林道・63支線 ・湯泊林道)	2		2 33%	2	2	4 67%	4 67%	2 33%	6 100%	2%	1
西部 (大川林道・小楊子林道 ・一湊林道)	17	10	27 35%	32	19	51 65%	49 63%	29 37%	78 100%	25%	
合 計	105	49	154 100%	102 63%	59 37%	161 100%	207 66%	108 34%	315 100%	100%	5
雌雄比(%)			49%			51%			100%		
雌雄の親子比(%)	68%	32%	100%	63%	37%	100%	66%	34%	100%		

- (適 要) 1 捕獲の期間は、平成23年5月～平成24年3月。
 2 上記欄中の下段の%は、捕獲場所ごとにおける雌雄比及び親子比を表す。
 3 捕獲手法は、くくりわなによる捕獲と追い込みわなでの追い込み捕獲。
 4 妊娠の有無は、目視による。

平成24年度調査対象地位位置図(案)



北東部地域

中央部地域

西部地域

南部地域

凡例

- 世界自然遺産地域
- 国立公園地域
- 国有林

平成 24 年 6 月 21 日
九州森林管理局

総合的なシカ捕獲対策について

屋久島のシカの生息密度を適正に管理するため、シカの有害捕獲等により生息密度の低減を図ってきたところである。

しかしながら、現状では目標捕獲頭数を確保できない地域が多い状況にある。これまで行っている国有林内での捕獲等現状では達成が難しいことから、今後、屋久島全体のシカ捕獲対策を推進するため、関係機関とさらに連携した対策を検討していきたいと考えている。

- 屋久島全体のシカ捕獲対策を推進するため、関係機関が連携・協力して捕獲するための方策の検討
- 効果的効率的なわな捕獲に関する技術の普及
- 新たな捕獲手法の導入の検討
- 捕獲推進のための有効利用方策の検討